

比奈部  
大内譯  
裡秀作 初編  
國芳畫

錦昇堂梓

Gōkan: (No. 13)  
Hina no Mi  
9 books, 1

13  
3728  
1



大内物語初編上

笠亭仙果著

己未新刊



毛吹草四卷諸國名物不

周防國

湯田の三月

筆あり

大内物語

國芳筆



此宗

初編上

仙果作

錦昇堂板



大内都

國芳画

物詰



初編下

門 へ 13  
8728  
1



# 大内譚

初編下冊

笠亭仙果作

一勇齋國芳画

錦昇堂壽東

第壹卷 木の祓のつかさをさめて抱うらやをばまきまきしものた

義隆の中納言大内といふ家號をあらわす母をば地此くろくをば  
よるもぬなうもよ武門ありて雲上のやうたつと羨こよねび鄙ふ

みちのけいふま 後移りおどく遊戯をまひのば勇威もたら  
たれもをば下らけあつるか賊臣小裁せられけひぞうこたみ

そのつみけあてな例のまじふものをはふ古記を潤色して  
書綴りたよてもはける勢をを年月人名をたれし實録と

引連へきん中くふこまきまきなるふあつらものやま  
はあれ布也のつかをまもりて太正化後の開書めつ  
はどと波のこものうらやをまきまきとまきにさんあり

庫六



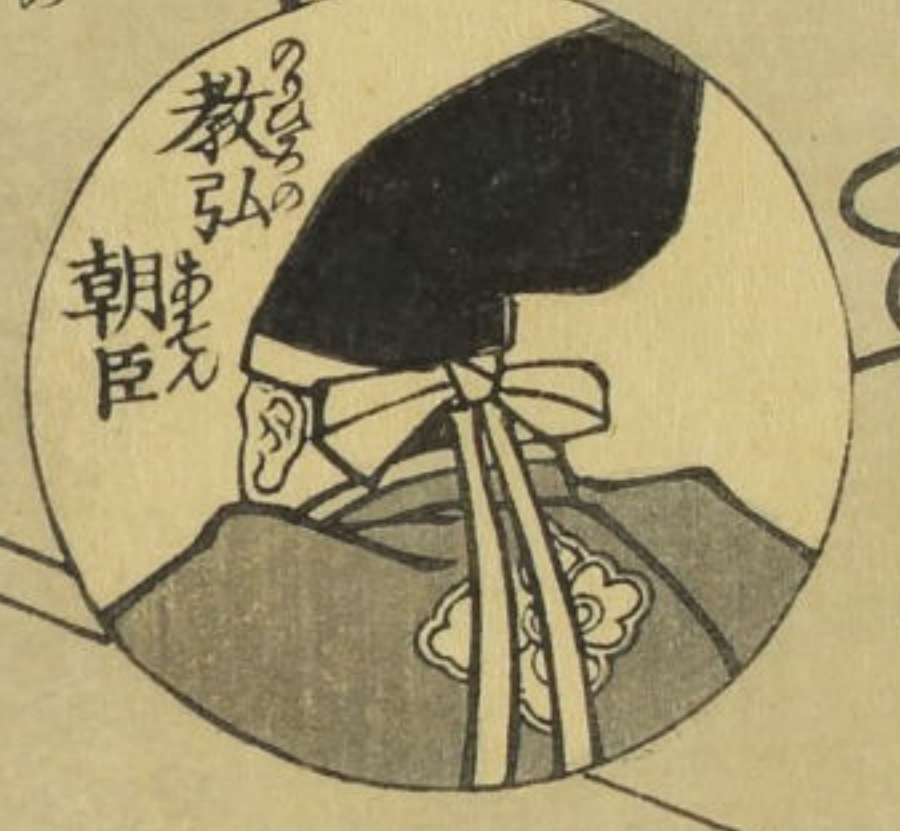
義弘入道



朝臣持世



朝臣朝弘



朝臣教弘

大内家の世代  
太子より義隆卿不速に義隆記  
二十六代  
陰徳記  
其代其  
外異  
言あり  
共小たりる



大内家始祖琳聖太子



巖島明神侍者

ねど此冊子に用存れ  
きせま巻首系図  
めりめと店主人の  
好小まをたあゆめ  
るるるるるるるる  
恒持小至七代と  
彼家に信下ける北  
斗七星配七父子の  
續きと一覽小使別小  
意あふあふす



義興卿



義隆卿



多々々の羅持恒

柳亭種彦再記



老母芝刀自  
らうぼあまのちと

都濱孝女  
おんべのこころ  
勿尾替  
おんべ

冷泉判官  
れいせんはんぐわん  
隆豊  
たかゆと  
実母身  
まぼみ



周防国  
みづのくに  
三田尻  
みづのしり  
都濱  
おんべ  
魚市の  
うしちの  
遠景  
とほり

浮浪人  
うき浪り  
小幡翻三義風  
こはたひらさんぎふう  
小次郎義実の  
おつじろうぎみの  
父親身  
ちちのぶ



宮島持君

暮手

実名も  
暗賢  
と更む

伊香賀民部

陶家  
忠義の人

八日軍刀

9



陶五郎隆房

老後

全薑  
入道とよ

侍女米女

大内詩元



本文字の如くは  
 〇山に登りての鳥は  
 らりて人を見れば  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは

〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは  
 〇鳥は人の如くは



丹比松寿丸  
 後郡音海と名止る  
 古今独歩の名は多

桂能登守元澄



Handwritten notes at the top of the right page.

Handwritten text in the upper section of the right page, preceding the illustration.

Handwritten text in the middle section of the right page, surrounding the illustration.

Handwritten text in the lower section of the right page, following the illustration.



Small handwritten note on the right side of the page.



大内軍刀 (Large Inner Army Knife)

Handwritten text in the upper section of the left page, above the illustration.

Handwritten text in the middle section of the left page, surrounding the illustration.

Handwritten text in the lower section of the left page, below the illustration.



木内酒平刀



木内謹云

此の世に於ては凡そ人々の心  
 子を以てて世の事を知るに  
 由るに世の事を知るに  
 由るに世の事を知るに  
 由るに世の事を知るに

此の世に於ては凡そ人々の心  
 子を以てて世の事を知るに  
 由るに世の事を知るに  
 由るに世の事を知るに  
 由るに世の事を知るに



木内謹云

此の世に於ては凡そ人々の心  
 子を以てて世の事を知るに  
 由るに世の事を知るに  
 由るに世の事を知るに  
 由るに世の事を知るに

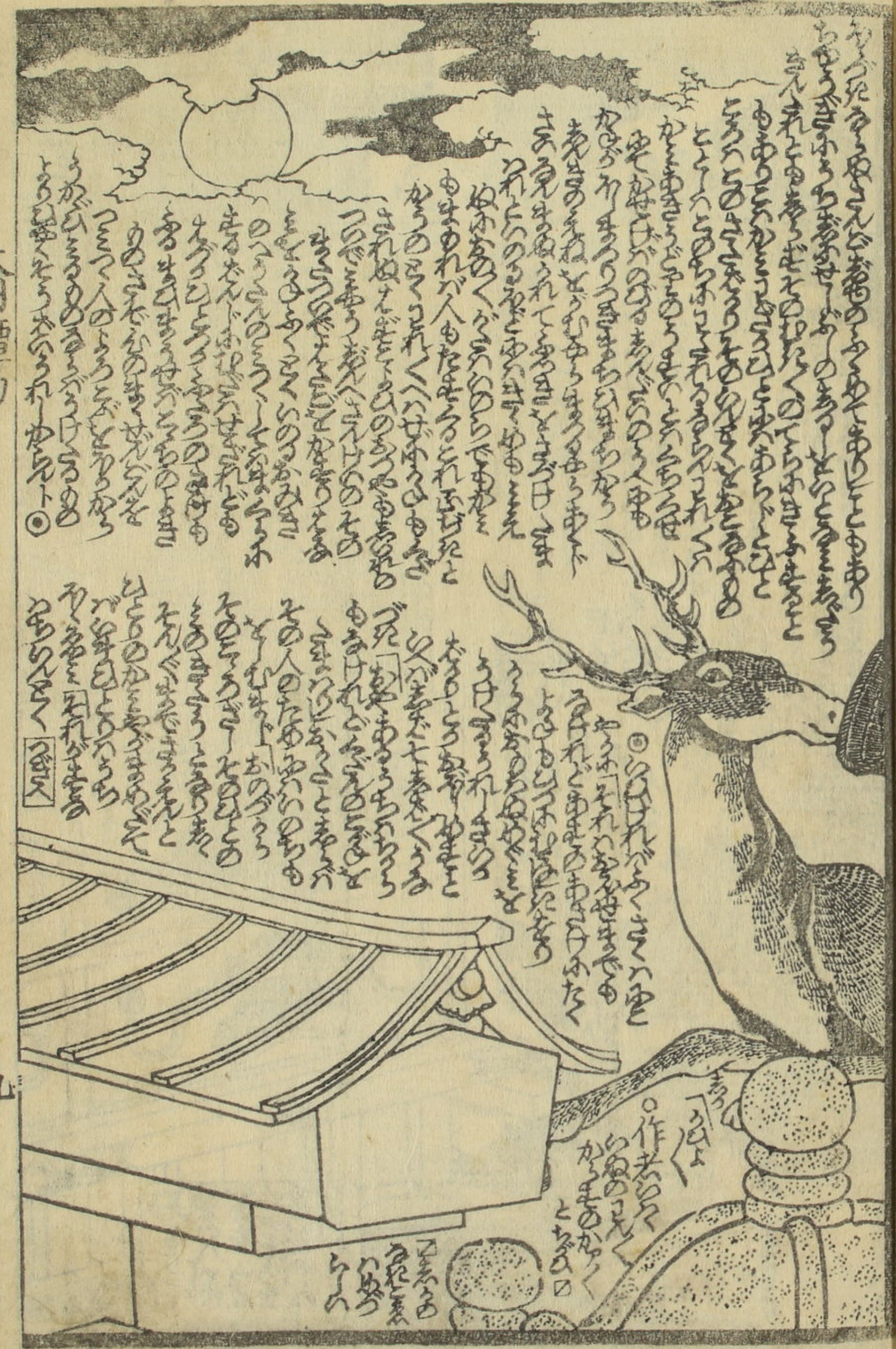


Vertical text columns on the top left of the illustration, likely a title or introductory text.

○作 著  
上 巻 八 巻 終  
九 巻 〇

〇 ね ち ゃ  
な ち ゃ  
あ ち ゃ

り ち ゃ  
な ち ゃ  
あ ち ゃ  
お の ち ゃ



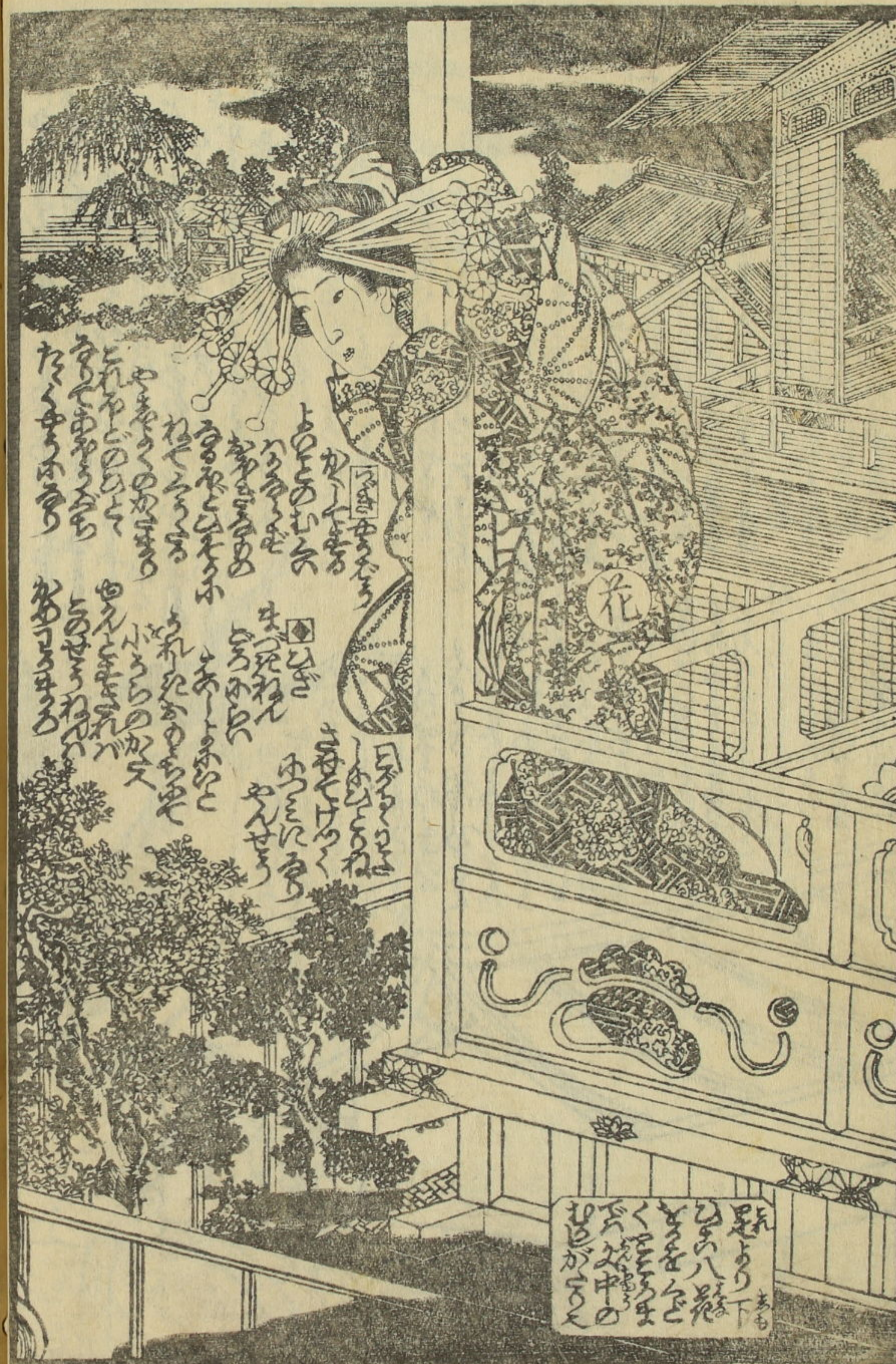
Vertical text columns on the top left of the illustration, likely a title or introductory text.

〇 ね ち ゃ  
な ち ゃ  
あ ち ゃ  
お の ち ゃ



大内御前

山崎の御前



大内御前

大内御前

周防の山口の代々... 武蔵の山口の代々... 武蔵の山口の代々... 武蔵の山口の代々...



種彦著 國芳畫

功のふやち... 功のふやち... 功のふやち... 功のふやち...

周防の山口の代々... 武蔵の山口の代々... 武蔵の山口の代々... 武蔵の山口の代々...



功のふやち... 功のふやち... 功のふやち... 功のふやち...

きんぎょのうまき...  
あつたふりて...  
あつたふりて...  
あつたふりて...



あつたふりて...  
あつたふりて...  
あつたふりて...

あつたふりて...  
あつたふりて...  
あつたふりて...



あつたふりて...  
あつたふりて...  
あつたふりて...

あつたふりて...  
あつたふりて...  
あつたふりて...

あつたふりて...  
あつたふりて...  
あつたふりて...

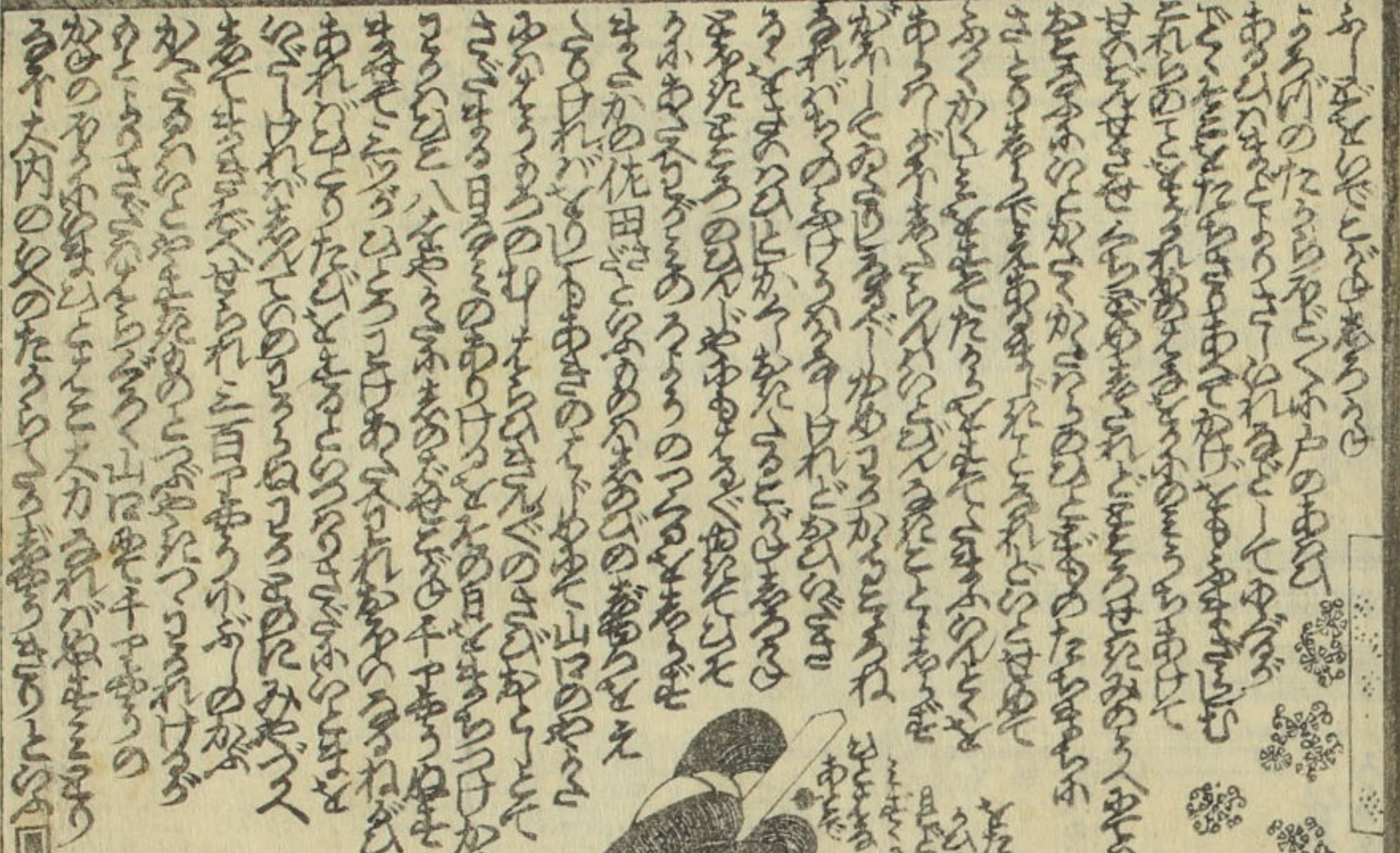
Handwritten text in vertical columns, likely a list or index, located at the top of the right page.

Handwritten text in vertical columns, likely a list or index, located at the bottom of the right page.

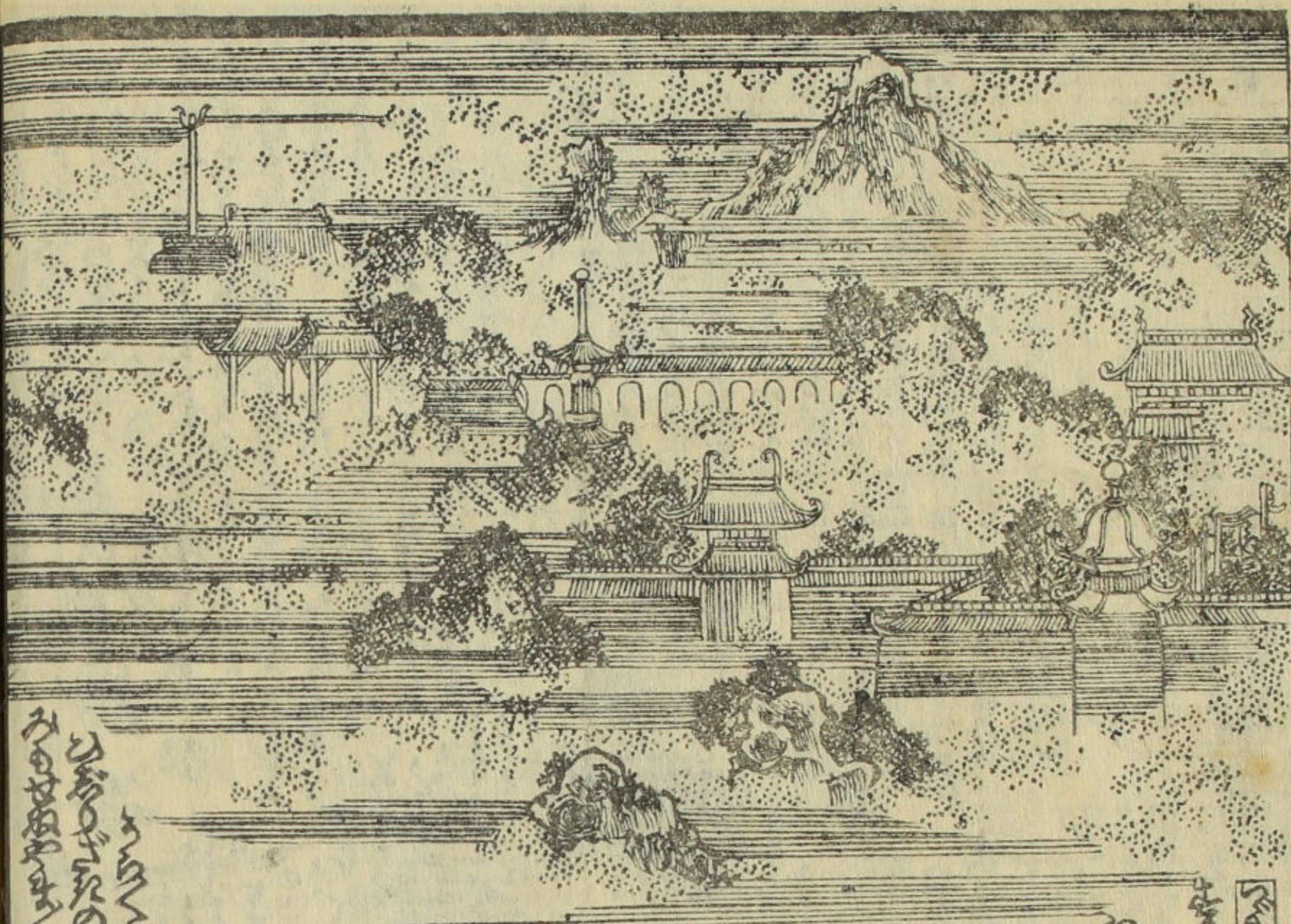


Handwritten text in vertical columns, likely a list or index, located at the top of the left page.

Handwritten text in vertical columns, likely a list or index, located at the bottom of the left page.







木下吉司

Handwritten text on the right page, written vertically in Japanese characters, including a large vertical title on the left side of the text block.



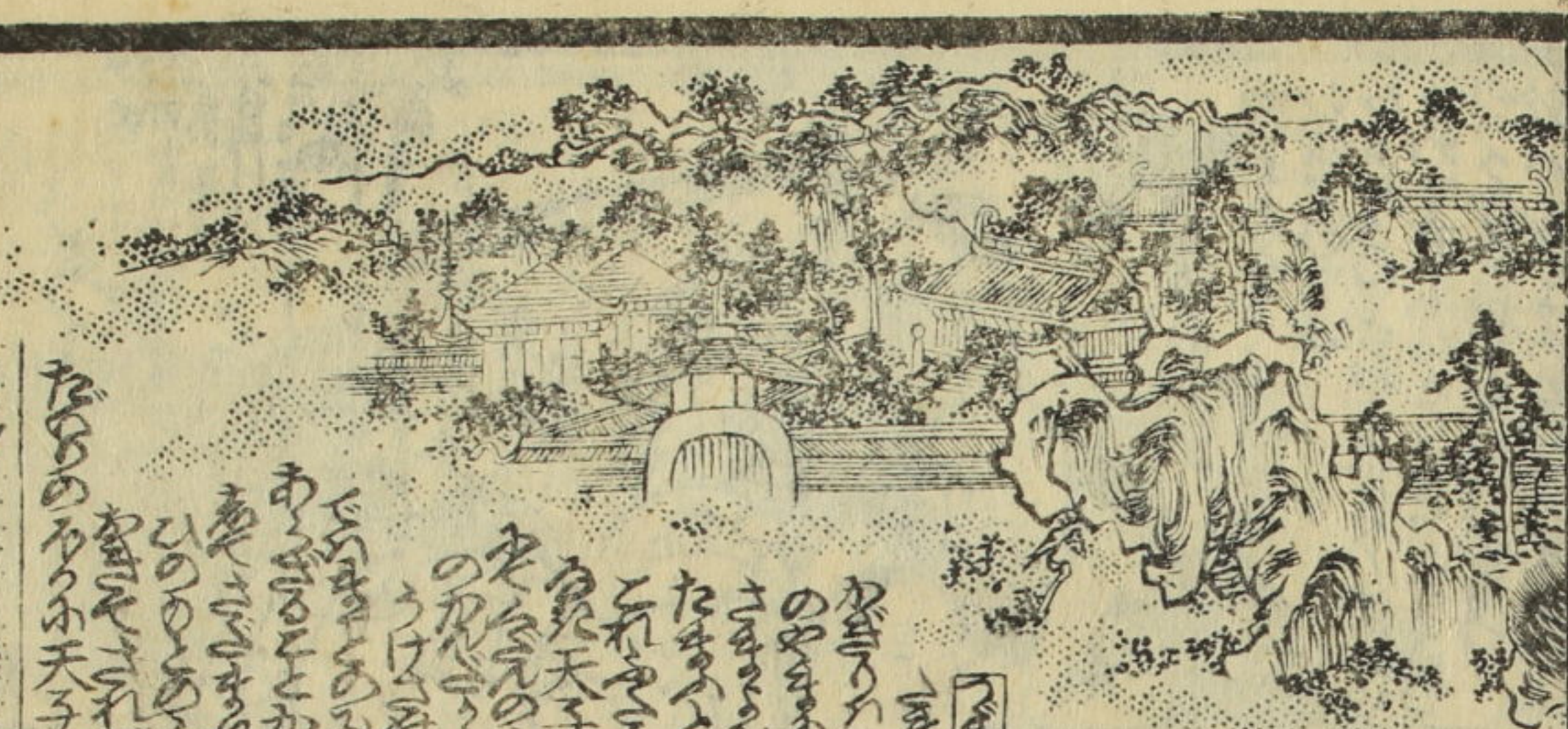
Handwritten text on the upper left page, written vertically in Japanese characters.

Handwritten text on the lower left page, written vertically in Japanese characters.

木下吉司

大内義弘入道靈

九十五年のそのゆへに  
たれとあらぬゆへに  
たれとあらぬゆへに  
たれとあらぬゆへに



大内義弘の  
たれとあらぬゆへに  
たれとあらぬゆへに  
たれとあらぬゆへに



大内龜若丸

入道義弘の  
たれとあらぬゆへに  
たれとあらぬゆへに  
たれとあらぬゆへに



つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの  
つらねの

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a preface or introductory text.





あらいびら社

右

下



上

下





大内記  
 大内記  
 大内記

大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記

大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記  
 大内記



大内記  
 大内記  
 大内記



朝弘朝臣室  
花町内花

柳亭種彦作

一勇齋國芳画

上はこれにあてていへばあつた  
たんとおもしろきやうな  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた

あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた



陶三郎持長  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた

樂亭西馬作

六編

稻妻形怪鼠標子

出板

一勇齋國芳画

七編

考紅箋

國貞画

字津谷峠

種清録 全三編後切

壽笑亭笑壽作

五編

與謝武郎戀夜話

一壽齋國貞画

六編

比異二個

比異  
仕立  
美多仙果信  
一壽齋國貞画

四編  
五編

萬延二辛酉孟春新刻

錦昇堂

あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた  
あつたそのうちあつた



大肉

物亭種秀化

一勇高國芳画

上 貳 編 帙

譚



笑壽在梓



二編下

仙果作  
國芳

大内  
譚



錦昇  
書房

都

法系

の



二編上

都

おちうち

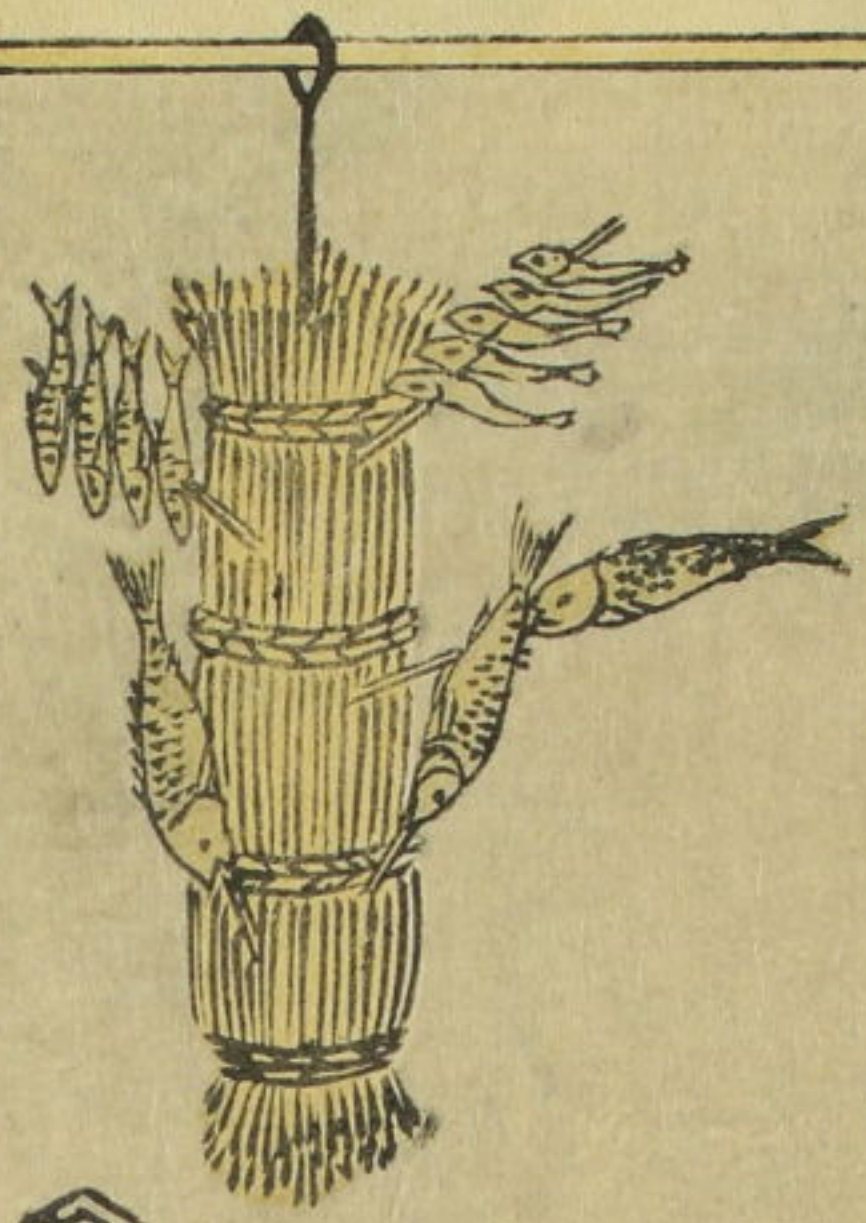
もはうち

二篇下巻

柳亭

著述

國より



錦屋直



大内左京大夫多々羅公政弘朝臣武功の應仁記にも出風雅の道も棄られ正五位  
 下の時四位叙階の志を望請まけれども小折紙空しく年々経ける程小  
 便る外山に住して下枝とも折こかた峰の椎柴と作て齋感と蒙り從四位下を  
 越階せられける文あり武あり行状小録あるところありと聞ふ山口の長久寺とあるの  
 縁起小明應四年九月十八日長州の本館小かいて重病他のり我友其の轉写せる  
 系圖小戴行年五十四又五十五と両説あり防長豊筑を領すに在りて過られと瞭然  
 たぞ此州帝の奸惡をねと財と好と聚飲の臣の惑され晩年小野葉荒く不測の狂死  
 とこびられ由小戯作の發端の二帙平穩小過る則ち拙著弥良ありされりて善  
 人を筆鋒小誣る罪ありとるの政を朝と更て餘人の如くの實紀とつる  
 人いられし沙石と塔と積てさへ佛の道と成ときひ根も葉もの善人と惡げ小記  
 して頗後悔さむれ鰻魚炙香を聞て飯の菜小代る人せやくと鰻屋其價何  
 貫何百文と云ふ者其程の緡錢をりち出椽小打つ音をきき張けさせりと  
 第一 云話も華鋒小造り罪人又華先めてことと地獄で舌も抜まらる

萬延二辛酉献春新彫

柳亭種彦





相良遠州女馬野

行者梵良



多々良公義隆卿

明人 朱良 範



船浦蟹海松子

時貞鬼神

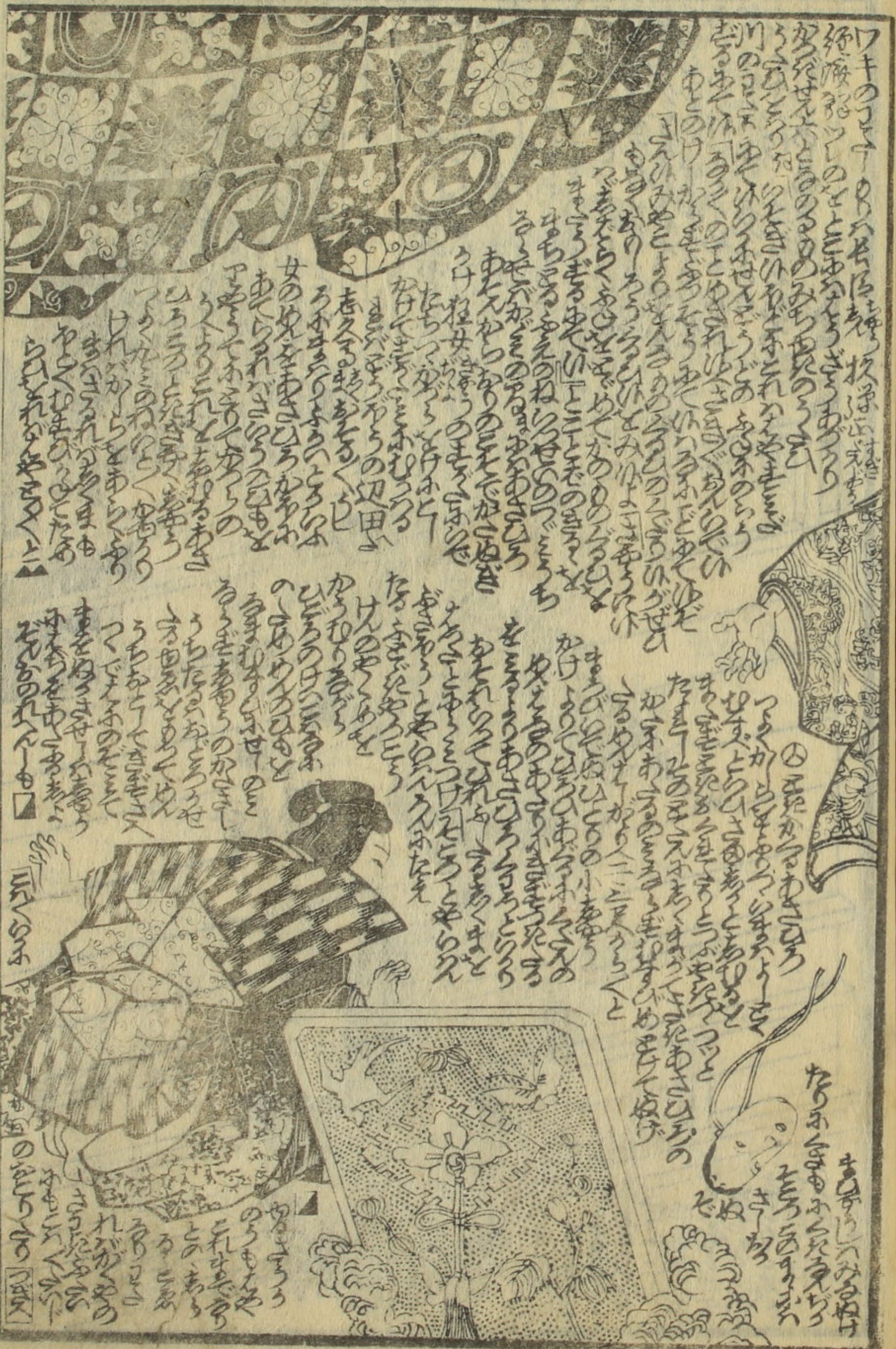
海張鬼神

摩訶羅刹



大内太郎恒持

大内























Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory text for the scene depicted below.



Vertical text on the left margin of the illustration, possibly a title or a specific reference.

Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory text for the scene depicted below.



Vertical text on the right margin of the illustration, possibly a title or a specific reference.





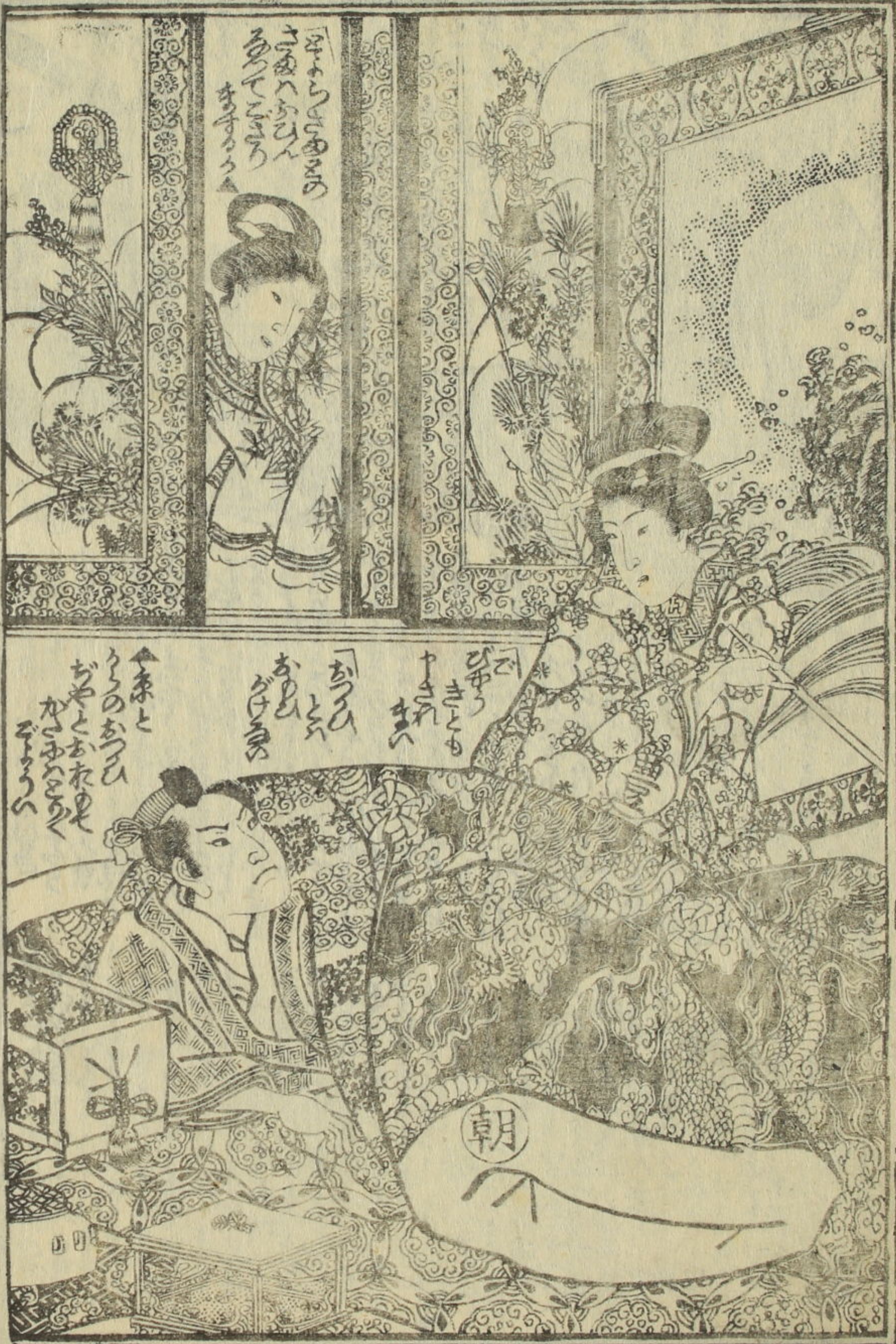
右の女中  
 左の女中  
 中央の女中  
 (Vertical text labels identifying the figures in the illustration)

此の女中...  
 (Main block of text on the bottom page)



右の男  
 左の女  
 (Vertical text labels identifying the figures in the illustration)

此の男...  
 (Main block of text on the bottom page)



あつと...  
うらやま...  
おのづから...

あつと...  
うらやま...  
おのづから...

あつと...  
うらやま...  
おのづから...

あつと...  
うらやま...  
おのづから...

あつと...  
うらやま...  
おのづから...







あつち  
のまへ  
ついでに  
たまを  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち



あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

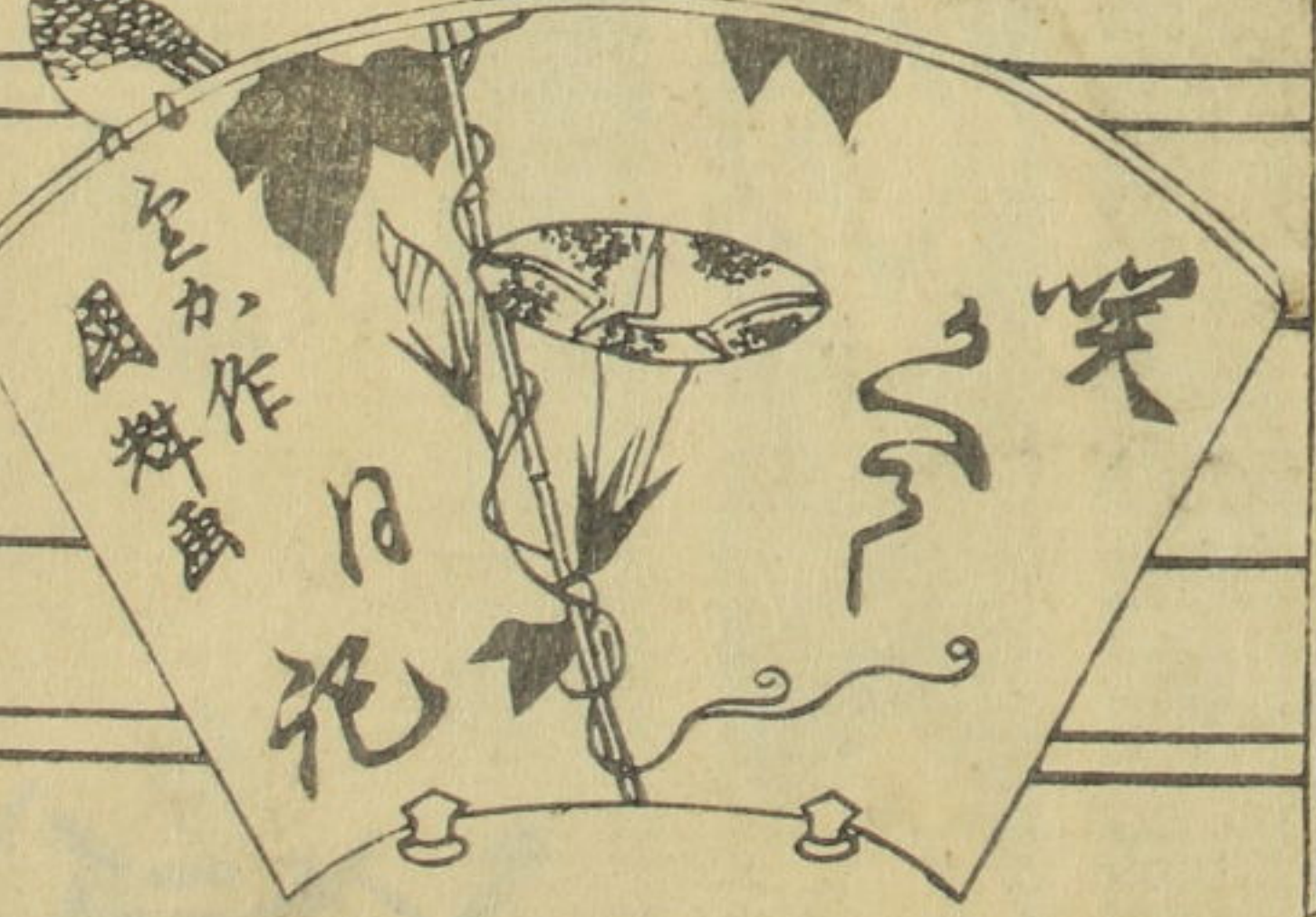


錦昇堂新發行目錄

東錦繪草紙問屋

照降町

惠比壽屋庄七梓



小夜衝白波草紙  
仙果作  
芳席画

柳亭種彦作  
一勇齋國芳画

大内清二

浄書  
金川

大内譚  
編 式

柳亭種彦著  
孟富芳齋画  
錦昇堂版





